

おう しょう さい

桜翔祭 音楽の部

全員合唱

2025.11.1発行

伊豆市 [No.86]

議会だより



本号の
ポイント!

令和6年度決算審査

土肥小中一貫校

9月定例会で審議した議案

※詳細はホームページをご覧ください
録画配信はこちら▶



全会一致で可決・認定した議案	
令和6年度伊豆市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	伊豆市印鑑条例の一部改正について
令和7年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）	伊豆市営施設運営委員会条例の廃止について
令和7年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	伊豆市下水道条例及び伊豆市給水条例の一部改正について
令和7年度伊豆市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	伊豆市上下水道事業審議会条例の制定について
令和7年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第1回）	伊豆市地域集会施設条例の一部改正について
伊豆市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	「森の力再生事業」の継続を求める意見書

賛否が分かれた議案	尾垣和則	飯田大	浅田藤二	小川多美子	黒須淳美	鈴木優治	波多野靖明	間野みどり	青木靖	三田忠男	小長谷順二	森良雄	木村建一	議決結果
令和6年度伊豆市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	認定
令和6年度伊豆市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
令和6年度伊豆市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
令和6年度伊豆市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	認定
令和6年度伊豆市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
令和6年度伊豆市温泉事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
令和6年度伊豆市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
令和6年度財産区特別会計歳入歳出決算の認定について（7財産区）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
令和7年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
財産の取得について（2件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
伊豆市民が共にあゆむ手話言語条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

※議長（下山 祥二）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
※議案数は30議案で討論は11件ありました（反対討論6件、賛成討論5件）。
討論した議員は飯田議員、青木議員、小長谷議員、森議員、木村議員の5名で、
詳細は定例会最終日の録画配信をご覧ください。

アクセスはこちら▶



令和7年伊豆市議会

9月定例会

会期：令和7年9月1日（月）～9月30日（火）

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
9/1 本会議初日 全員協議会 議会広報委員会	2 全員協議会	3 本会議2日目 （一般質問）	4 本会議3日目 （一般質問）	5	6	7
8	9	10 議会運営委員会 本会議4日目 （議案質疑）	11 連合審査 （総務経済 委員会所管分）	12 連合審査 （教育厚生 委員会所管分）	13	14
15	16 総務経済委員会	17 教育厚生委員会	18	19	20	21
22	23	24	25	26 議会運営委員会	27	28
29	30 議会運営委員会 本会議最終日 全員協議会 議会広報委員会	10/1	2	3	4	5



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載
アクセスはこちら▶



要チェック議案



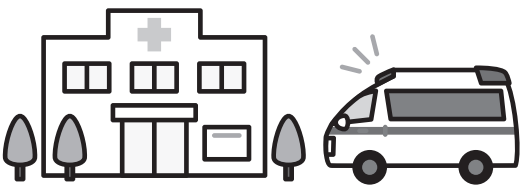
- ・議案第49号～63号 令和6年度各会計決算の認定
- ・議案第64号 令和7年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）
- ・議案第76号 令和7年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）…追加議案

令和7年度伊豆市一般会計補正予算（第4回）

詳細 ※1万円未満は切り捨て

衛生費：保健衛生総務費【2億9,288万円】
（市内公的病院等補助金）

土木費：河川維持費【3,700万円】
（普通河川安竹川改修工事）



令和7年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）

詳細 ※1万円未満は切り捨て

災害復旧費：農地災害復旧費 他【9,100万円】
（台風15号災害に係る測量設計委託料の増 他）



下湯府公民館付近の被災現場

9/11・12
連合審査



駿河湾フェリー

質疑
(総務経済委員会所管)

Q 駿河湾フェリーの輸送人員の減少の要因は。

A 週末の天候不良による欠航に加え、南海トラフ臨時情報による海離れ、コロナ禍の半額キャンペーンが終了し、利用者に通常料金が割高なイメージが広がったことが、利用者減少になりました。

質疑

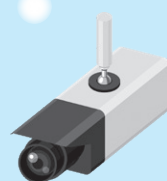
Q 消火栓の新設と撤去の理由は。

A 新たな住宅やアパートが増え、必要となった場所に新たに設置する一方で、住居の減少により、設置範囲の条件に照らし、撤去し、合理化を進めています。

質疑

Q 不法投棄監視カメラ5台の設置概要は。

A 動作を感知すると録画する電池式のカメラを5台、既存のポールや電柱に設置し、定期的に電池やメモリーの確認をしています。



Q 企業版ふるさと納税増加の要因は。

A 地元の静岡銀行に、マッチング業務の委託を新たにいたしました。県内外の静岡銀行の取引企業を紹介いただいていること、取引業者への営業が、企業版ふるさと納税の増加につながりました。



企業版ふるさと納税のチラシ



Q 令和6年度に放課後児童クラブに入れなかった児童はいたか。また、その原因は。

A 待機児童は同一のクラブで7名いました。定員をかなり超えており、指導員の配置ができないことも理由の一つです。

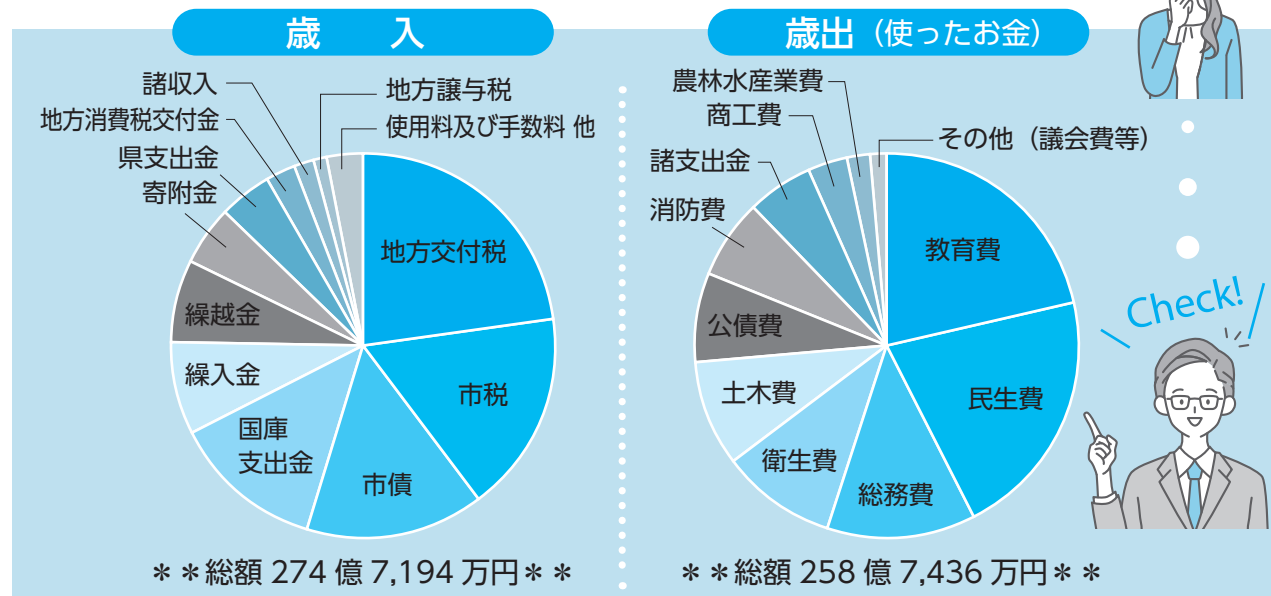
Q 育てて育つ事業、子育て支援奨励金の実績の内容は。

A 就労の促進と保育士不足解消のため、市内に住居を所有し、就労する日に34歳以下で、市内私立園の保育施設に6か月以上勤務した保育士に、奨励金として20万円、29歳以下の方にはさらに5万円を加算して支給しています。6年度は2件支給しました。

令和6年度決算 税金の使いみちをチェック

何に使われた?

*** 一般会計歳入歳出額 ***



令和6年度の主要事業 (一部)



危機管理センター

・(仮称)危機管理センター整備工事
(3億7,752万円)

消防費(17億947万円)



伊豆中学校

・伊豆中学校整備事業
(35億9,556万円)

教育費(56億130万円)



中伊豆室内温水プール(ふれっぽ)

・中伊豆室内温水プール管理事業
(4億8,358万円)

令和6年度各会計決算総括表

会計名	歳入	歳出
一般会計	274 億 7,194 万円	258 億 7,436 万円
特別会計企業会計税抜き額		
公共用地取得事業	1,047 万円	1,047 万円
国民健康保険	36 億 9,717 万円	36 億 2,471 万円
後期高齢者医療	6 億 2,426 万円	6 億 2,269 万円
介護保険	39 億 4,688 万円	36 億 7,063 万円
水道事業	6 億 534 万円	6 億 8,680 万円
温泉事業	7,108 万円	8,171 万円
下水道事業	10 億 6,602 万円	12 億 6,595 万円
財産区 (7 財産区)	588 万円	96 万円
総合計	374 億 9,904 万円	358 億 3,828 万円

※1万円未満を四捨五入しています。

※水道事業・温泉事業・下水道事業の不足額は、補填されています。

基金とは?

市の預貯金のことです。将来にわたり安定した事業展開を行えるよう、積み立てています。



令和6年度伊豆市基金総額
一般会計のみ (18 基金)

○積立額 14 億 6,763 万円
○取崩額 20 億 6,938 万円
○年度末現在高 ... 93 億 3,951 万円

令和6年度伊豆市一般会計決算



総務経済委員会

◆令和6年度下水道事業会計 決算の認定について

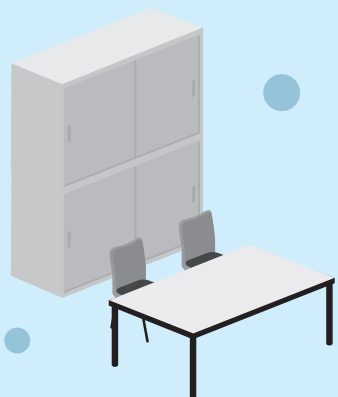
Q 管渠費が昨年度から増加している理由と、マンホールの老朽化交換の状況は。

A 増加は、電気料等の値上げが影響しました。マンホールの老朽化は、大きな事故は起きておりませんが、随時点検補修を行い、事故がないように努めます。

◆令和7年度伊豆市一般会計 補正予算（第4回）

Q 市道上船戸大仙1号線測量設計業務委託の詳細は。

A 県道伊東修善寺線の改良工事に向け、この市道との接続部分を県の設計に反映していただくための設計業務委託費です。



◆財産の取得について

Q 危機管理センターの備品購入に際し、どのような基準や経緯で選ばれたのか。

A 他市町の視察をして、必要なものをピックアップし、危機管理センターにふさわしいものを選定しました。主なものは、3階のストックヤードに設置する備蓄品等の棚のほか、災害対策本部の机、椅子等を購入します。

議案質疑

◆令和6年度伊豆市一般会計 歳入歳出決算の認定について

Q 令和6年度は合併の総仕上げとしての予算編成で、当初予算で掲げられた第2次総合計画後期基本計画の取り組みは。

A 令和6年度予算は「合併の総仕上げ」として位置付けましたが、伊豆市のまちづくりは、まだ道半ばです。

第2次総合計画最終年である令和7年度、そして、令和8年度から始まる新たな総合計画でも、目指す方向は変わりません。これからも現在の取り組みを進めていきます。



◆令和7年度伊豆市一般会計 補正予算（第4回）

Q 市立こども園等給食業務委託は現行との変更があるのか。

A 基本的には現業務委託と同様としていますが、物価、食材費の高騰で委託業者も対応に苦慮しているため、欠席者分の食材費は、市が負担するよう変更したいと考えています。



修善寺東こども園給食配膳の様子

◆伊豆市上下水道事業審議会 条例の制定について

Q 現行の条例を統合し、新しく「伊豆市上下水道事業審議会条例」の制定を提案した背景と制定後の審議内容は。また、伊豆市の水道事業の現状をどう捉えているか。

A 上下水道事業の課題は人口減少による収益の減少、老朽化施設の更新需要の増大、電力・薬品・人件費等の高騰などによる持続的な事業運営の確保が喫緊の課題です。また、料金は平成30年度以降、改定の検討が行われておらず、上下水道料金の適正化が図られていない状況です。

こうした課題に一体的に対応するため、新たな審議会で、上下水道事業の将来にわたる安定経営に向けた適正な料金のあり方を審議する予定です。

教育厚生委員会

◆令和7年度伊豆市一般会計 補正予算（第4回）

Q XR防災教育環境構築等業務委託の補正予算を組んだ理由と伊豆中学校のどの活動に組み込むか、委託の内容は。

A 令和7年6月から放課後の時間に、仮想空間でよりリアルな災害状況を疑似体験する活動を行っています。現在、慶應義塾大学との連携協定で機材を借りており、今後継続的な実施のために機材を購入する補正です。

内容はVRゴーグル8台、仮想空間を作るための作業用パソコン6台、タブレット端末2台の購入、画像加工ソフトのライセンス料とその設定費用などです。



◆財産の取得について

Q GIGAスクール用端末1,581台は児童生徒分だけなのか、予備機の台数も含まれるのか。

A 児童生徒数は1,375人で、予備機は児童生徒数の15%以内という規定があるため、206台となり、この中に先生方の分も見込んでいます。



GIGA スクール用端末を使用した授業の様子



質問 デフリンピックに関して伺う



動画はこちら
※他の質問あり

11月15日からデフリンピックが開催され、日本サイクルスポーツセンターでは自転車競技が行われます。今回は百周年の記念大会となります。

市としてはどのようなおもてなしを考えていますか。また、会場まで無料のシャトルバスは運行されますか。

答弁

国の交付金を活用して導入した「字幕表示システム」を大会期間中、修善寺駅観光案内所に設置し、観戦客への対応を予定しています。また、社会福祉課が取り組んでいる「手話奉仕員養成講座」の参加者などが関われる機会があれば、市民によるおもてなしの一助になると考えています。

観客の会場アクセスについては、観客数が想定できないことに加え、会場への自家用車等での乗り入れが可能で、修善寺駅以外のアクセスも想定されるため、シャトルバスの運行は予定していません。



小川 多美子 議員

質問 大規模災害への備えを確認する

地域集会所などを避難所として開放をお願いしており、資機材補助金等を活用いただきながら、備蓄や備品の整備を進め、強化を図っていただいています。



動画はこちら

伊豆市において、災害救助法に準じた避難などへの対応状況はいかがですか。指定避難所の整備状況はいかがですか。雨漏り、防寒耐暑対策はできていますか。また、地域の集会場等を一時避難場所として整備する必要性について、どう考えていますか。

答弁

南海トラフ地震を想定しますと、発災から1週間後の避難者のピーク約3,600人に対し、市内の指定避難所で約4,000人を収容できる状況です。水5,400ℓ、食料2万8,900食を確保済みで、引き続き備蓄に努めます。

現状の避難所は、決して良好な環境とはいえないため、防寒耐暑対策等の環境改善が必要と考えております。

地域集会所などを避難所として開放をお願いしており、資機材補助金等を活用いただきながら、備蓄や備品の整備を進め、強化を図っていただいています。



青木 靖 議員

質問 小学校の水泳授業について

「ふれっぶ」に移した主な理由は3点です。1つ目は、屋内なので天候や気温に左右されず、計画的に授業を行えること。2つ目は、昨年、他県で水の出しっぱなしなどが問題になりましたが、教職員の水質管理など、プール管理の負担軽減につながる。3つ目は、専門の指導者による指導の質の向上と、教職員が指導のサポートや安全管理に注力でき、より充実した授業になると期待されることです。



動画はこちら
※他の質問あり

広報伊豆8月号「小学校の水泳授業を『ふれっぶ』で実施」には、5つの市内小学校では「ふれっぶ」を会場に、水泳専門のコーチが子どもたちの泳力や気持ちに合わせた水泳授業を実施している。また、プール管理費用削減を図っている。と掲載されています。各小学校の水泳授業を「ふれっぶ」に会場を移した理由を伺います。

答弁

「ふれっぶ」に移した主な理由は3点です。1つ目は、屋内なので天候や気温に左右されず、計画的に授業を行えること。2つ目は、昨年、他県で水の出しっぱなしなどが問題になりましたが、教職員の水質管理など、プール管理の負担軽減につながる。3つ目は、専門の指導者による指導の質の向上と、教職員が指導のサポートや安全管理に注力でき、より充実した授業になると期待されることです。



鈴木 優治 議員

市政を問う

～ 一般質問 ～

録画配信へ

パソコン

Andoroid スマートフォン

iPhone アイフォン

伊豆市議会 ライブ中継

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。

カメラアプリを起動して QR コードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

検索 からご覧ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

質問 中伊豆地区の現況は計画通り進捗しているか

中伊豆温泉病院移転後、アパートや薬局、コンビニができました。温泉病院跡地の進捗はありますか。橋保育園跡地は、公募しましたが、応募がありませんでした。わさびセンターを開設しました。萬城の滝キャンプ場の利用人数は減少していますが、顧客満足度は向上しています。冷川の県道拡幅工事は相続手続き中のため、事業着手には至っていません。太陽光発電事業は令和5年12月以降進展していません。小学校移転後の通学路の安全確保のため、歩道整備や道路拡幅の計画中です。



動画はこちら
※他の質問あり

令和4年12月議会でも質問しましたが、この間の中伊豆地区の中伊豆温泉病院移転後の周辺地区、中伊豆温泉病院跡地、橋保育園跡地、わさびの郷構想と萬城の滝キャンプ場、冷川の県道拡幅計画、伊豆スカイラインゴルフ場の太陽光発電事業、中伊豆中学校跡地への小学校移転と、周辺道路網の整備等現状の進捗と今後の課題について伺います。

答弁

中伊豆温泉病院移転後、アパートや薬局、コンビニができました。温泉病院跡地の進捗はありますか。橋保育園跡地は、公募しましたが、応募がありませんでした。わさびセンターを開設しました。萬城の滝キャンプ場の利用人数は減少していますが、顧客満足度は向上しています。冷川の県道拡幅工事は相続手続き中のため、事業着手には至っていません。太陽光発電事業は令和5年12月以降進展していません。小学校移転後の通学路の安全確保のため、歩道整備や道路拡幅の計画中です。



三田 忠男 議員

質問 伊豆市DX推進の意義と目指すところは

本市では「伊豆市DX推進方針個別計画」を策定、ノーコードツール等の業務効率化ソフトの活用などで、行政運営の生産性も向上しているところです。

市民にDX推進の意義を知っていただく取組みとして、スマホ教室などの他、今後は地元企業と連携した生成AIやeスポーツ体験会など、デジタルを身近に感じていただけるイベント開催も計画しています。

DX推進で住民サービスや行政運営のあり方を見直し、市民の満足度向上と職員の働き方改革に努めていきます。



動画はこちら

伊豆市では、令和4年3月にDX推進方針を策定後、外部からICT分野の専門人材を起用するなど、組織改編もありました。正に伊豆市が直面する働き手減少対策として、今後も持続可能な行政サービスを提供するための業務改革など、市民サービス向上につながる施策を展開しているところです。これについて現状と今後の取り組みについて伺います。

答弁

本市では「伊豆市DX推進方針個別計画」を策定、ノーコードツール等の業務効率化ソフトの活用などで、行政運営の生産性も向上しているところです。

市民にDX推進の意義を知っていただく取組みとして、スマホ教室などの他、今後は地元企業と連携した生成AIやeスポーツ体験会など、デジタルを身近に感じていただけるイベント開催も計画しています。

DX推進で住民サービスや行政運営のあり方を見直し、市民の満足度向上と職員の働き方改革に努めていきます。



黒須 淳美 議員

質問 カムチャツカ半島付近を震源とする巨大地震

7月30日、ロシア・カムチャツカ半島付近を震源とする巨大地震により、静岡県には最大3メートルの津波警報が発表されました。真夏のトップシーズンに発生した津波警報に対して、当市の災害対策本部の立ち上げ、避難指示発令までの検討内容、避難所開設から警報解除・避難所閉鎖までの状況と、現時点における総括について伺います。

答弁 津波注意報が発表された後、土肥地区のすべて陸間を閉鎖しました。その後、津波警報が発表されたため、直ちに災害警戒本部を設置し、津波に関する情報を同報無線やホームページ、SNSなどを通じて市民への周知を行いました。避難指示の発令後、指定避難所を開設し、職員を派遣しました。避難所開設後には、防災指導員が自主的に指定避難所へ向かい、避難所運営に協力していただきました。遠隔地の地震のため、市民のとらえ方にばらつきが見られたことや、観光客への周知、帰宅困難者への対応等が課題となりました。



小長谷 順二 議員

質問 子どもが減少する課題にどう取り組むか

社人研の推計では2020年の0歳から14歳までの人口を100とした場合、伊豆市は2040年は43・0、2050年は35・9です。静岡県下の自治体で5番目に低い状況です。第2期人口ビジョンから、この推計をどう見ますか。

答弁 子どもの数がこの先30年間で約6割減少する見込みを示す、非常に厳しい数字だと思います。しかし、社人研の推計は、出生数や社会移動が現状の延長で推移することが前提であり、政策による出生数の改善、移住・定住の促進により、その数字を変えられる余地はあると考えます。本年3月策定の伊豆市子ども計画で、保護者から「子育てへの経済的負担が大さい」との意見が多いこともわかりましたので、中学入学時の経済的支援も含め、制度の見直しを考えます。

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所



木村 建一 議員

ホームページに 会議録検索システム掲載

令和2年伊豆市議会4月臨時会から直近の定例会までの会議録の検索・閲覧が可能です。
[議員名] や [発言者]、[キーワード] などから絞り込み検索もできます。

※平成16年度以後の会議録は、伊豆市議会HP内のPDFファイルでご覧になれます。



会議録・
会議録検索



質問 空き家対策

全国的に空き家が深刻となり、伊豆市でも空き家が5,680戸、空き家率は32・9%です。倒壊や不法侵入、景観破壊、庭木等の飛び出しによる通行障害・事故誘発など地域住民の安全・健康・生活環境に対し、重大な影響を及ぼしかねません。現在、市が危険又は管理不全と判断する空き家は何戸ですか。また、その対策を伺います。

答弁 今年度、市独自の空き家実態調査をしています。現時点で市が危険又は管理不全と判断する空き家は、危険空き家が6件、管理不全空き家が16件です。危険な空き家の未然防止、移住定住促進及び空き家の除却のための施策として、「空き家バンク」「空き家リフォーム補助」「老朽空き家等除却支援補助金」があります。また、空き家対策の周知のため、パンフレットを作成し、窓口に置くとともに、リーフレットを納税通知書へ同封し、お知らせしています。今年度は、終活セミナーを実施し、空き家を発生させないための啓発を行います。



尾垣 和則 議員

質問 地元で出産できる環境整備と意識改革

私たち市民は、病院で出産することが常識ではなく、自分がそだったように、家で、あるいは、近くの助産院で出産することが産後ケアを含め、安心であると思っています。

答弁 安心して地元で出産できる伊豆市の取り組みと周知について伺います。

桃太郎助産院との連携により困っている妊産婦には助産師自らが訪問し、寄り添い、相談を受け、安心して出産ができるよう環境を整えております。

子育てマガジン「Familyzu（ふあみりいず）」やインスタグラムで桃太郎助産院を紹介し、F・M・I・Sでも週1回院長による子育てに関する番組を放送するなど、周知をしています。

助産院でも出産ができることについて、産院選びの選択肢となるよう、更なる周知を行いたいと考えます。



浅田 藤二 議員

質問 老朽空き家除却補助制度の対象拡大を

老朽化した空き家の除却を促進するための「伊豆市老朽空き家等除却支援事業補助金」について伺います。

答弁 ①現行の対象要件、とりわけ「対象地域」設定の理由・背景を伺います。
②対象地域外にも空き家が点在します。対象要件の見直しを検討しませんか。

①全国的な空き家問題に伴い、政策的な居住誘導と災害時の住宅密集地内の空き地や緊急輸送ルートの確保などを目的に、対象地域を設定しています。
②制度開始後2年半が経過し、対象地域外の相談も増え、見直しの必要性を認識しています。現在、空き家実態調査を実施中で、調査結果や国の補助金等の財源確保も踏まえ、対象地域及び要件の見直しを検討します。



波多野 靖明 議員

議会モニター募集中!

任期(2年): 令和8年2月~

伊豆市議会モニター

検索

詳細はホームページに掲載



アンケートを実施中!

アンケート回答フォーム

伊豆市議会だより

検索

Webから回答
できます

ここから1分程度の
簡単なアンケート



前月号アンケートにて、ご意見をいただきましたので
ご紹介します。(※ 回答一部抜粋)

・中伊豆中学校舎解体の件、何も知らなくて唐突に始まった感があります。中伊豆小も新築する
のですか? 新しくしても何年かしたらまた統合になるのではないかと、お金がないのに建物ば
かり建てて不要になった建物の活用も上手くいかないって目に見えている気がします。人口減
少は止まらないので増えないのを前提としたやり方を真剣に考えた方がいいのでは?

(★★★★☆ 50・60代)

(★★★★☆ 50・60代)

・ページ数は適切、QRコードの利用は無

(★★★☆☆ 30・40代 マッツィオ様)

・ページ数は適切、QRコードの利用は無

・ページ数は多い、QRコードの利用は無

紙の配布は現代社会において考えさせられます。(☆☆☆☆☆ 50・60代 ネーム様)

広報委員会 委員から

中伊豆小学校移転事業は、隣接することも園と連携した子育て・教育環境を創出する目的も
あり、市民の負担が少なくなるように財源を活用して、中伊豆地区のまちづくりのために、
老朽化により取り壊しをする中伊豆中学校跡地へ移転する事業です。

12月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
11/24	25	26	27	28 本会議初日 議会広報委員会	29	30
12/1	2 本会議2日目 (一般質問)	3 本会議3日目 (一般質問)	4 本会議4日目 (一般質問)	5	6	7
8 本会議5日目 (議案質疑)	9	10 総務経済委員会	11 教育厚生委員会	12	13	14
15	16	17	18	19 本会議最終日 議会広報委員会	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1/1	2	3	4

※日程は変更となる場合があります

議会傍聴・ 視聴のご案内



本会議はどなたでも傍聴がで
き、生中継と録画配信も行っ
ています。

アクセスはこちら▶
(議会事務局)



傍聴に関するお問合せ

Tel. 0558-72-9906

編集後記

市議会議員の主な役割は、
市民の声を市政に反映させる
一般質問と、市長が提案する
予算や決算、条例などを議
決することです。それを報道
するのが「議会だより」です
が、限られた紙面で市民の皆
様にわかりやすくお伝えする
にはどうすればよいか、苦労
しています。ぜひ、みなさん
の声をお聞かせください。よ
ろしくお願いたします。

議会広報委員

木村 建一

次回は令和8年2月1日発行予定です。

議会ホームページ▶

